

「ライフ・ライン」のつどい in 内房 ニュースレター

第6号2008年9月発行

「ライフ・ライン」のつどいin内房実行委員会

「恵み深い主に感謝せよ／慈しみはとこしえに」と
主に贖われた人々は唱えよ。主は苦しめる者の手から彼らを贖い
国々の中から集めてくださった／東から西から、北から南から。

(詩篇 107 編 1-3 節)

皆さんがこのニュースレターをお読みになる頃には、「ライフ・ライン」のつどい in 内房は、感謝のうちに無事に終わっていることと思います(この原稿を書いているのは27日より前です)。当日、いろいろと突発的なことがあったとしても、神様のお導きとお守りのうちに、恵豊かな集会となったことでしょう。

実行委員として今回の準備に参加して、私自身多くの恵みを与えられました。私の教会は家族礼拝に近い現状で、自分の教会だけで伝道集会を計画する余力がまだありません。しかし、地域の他教会や千葉県テレビ伝道協力会の方たち、PBA のスタッフと一緒に、今回のつどいを実現することができました。共に祈りつつ準備してきたことは大きな喜びでした。

また、見えないところで、多くの方が御祈りに覚えてくださったことを感謝いたします。私自身も祈ることで、千葉県の他の地域の教会のこと、「ライフ・ライン」の放映されている全国各地の教会のことを、心に留めることができました。

み言葉の種を蒔くことは困難も伴います。「涙と共に種を蒔く人は／喜びの歌と共に刈り入れる」ことを信じて、これからも祈りつつ歩いていきます。決して孤独な業でなく、多くの方が共に働いており、何より神が共にいてくださることを、今回の働きを通して感じさせられました。